

兵高教組

## 調査情報

第37号 2009年1月20日

兵庫県高等学校教職員組合調査部

電話：078-341-6745

http://www.hyogo-kokyoso.com

## スクールバス添乗業務の民間委託反対！ 大きく広がる父母との共同



### 12月26日 岡野教育次長に 19,811筆の署名を提出！

星原県文教常任委員（左）立ち会いのもと、岡野教育次長（右）に署名を提出する安原介助員部長（中央）

特別支援学校のバス添乗と教室介助という、兵庫の障害児教育を支える大切な仕事をしている介助員さん。県教委も「正規職員並の仕事をしていただいている」とその役割を認めています。しかし、週30時間労働で、月収わずか143,000円という劣悪な条件におかれています。

ところが、県教育委員会は、待遇改善を行うどころか、こともあろうに、新規導入されるスクールバスの添乗業務の民間委託化を推進しています。

これに対して、子どもの安全に不安を感じる保護者と、職の誇りを傷つけられた介助員さんが立ち上がり、2ヶ月ほどの短期間に2万筆もの署名を集めました。

12月26日、岡野教育次長に保護者と介助員の代表が署名を提出しました。

### 安心安全のバス添乗業務

県立の知的障害の特別支援学校にはスクールバスがあり、多くの児童・生徒が利用しています。そのほとんどの学校で、公務員である介助員さんが添乗しています。

特別支援学校の生徒はそれぞれに障害を抱えており、その状況は日々変わります。教室介助で直接生徒と関わり、また、教員と密接に連携することで、一人ひとりの生徒の状況を把握し、バスの中でも、生徒に丁寧に寄り添って、安全で安心できる通学を保障をしています。

### 県教委は民間委託推進

ところが、県教育委員会は、2005年に開校した西はりま特別支援学校を皮切りに、新しく導入されたバスの添乗業務の民間委託を進めてきました。

08年度には、淡路聴覚特別支援学校とのじぎく特別支援学校に知的の部門が設置されると同時に民間委託されました。09年度には東はりま特別支援学校（仮）が開校され、スクールバスが導入されます。県教委は、新設校のバス添乗業務も民間委託する方針です。

### 急速に広がった反対署名

障教組・高教組は介助員部と共に、民間委託の問題点を挙げ、民間委託の導入に反対してきました。学校での様子を知らないまま添乗する民間の添乗員では、学校や家庭との連携も十分とれず、普通のちょっとした対応でさえ困難になります。

この問題を一番敏感に受け止めたのは、保護者の方々でした。介助員有志で集め始めた署名は、保護者と共に取り組む運動として瞬く間に広がり、短期間に19,811筆もの署名が集まりました。

### 岡野教育次長に父母が訴え

2008年12月26日、星原県会議員・文教常任委員が立ち会ったなか、署名を県教育委員会岡野教育次長に提出しました。その場には、県立特別支援学校の介助員に加えて保護者も同席し、それぞれの思いを当局に訴えました。

介助員は、「子どものことを分かっている人がバスに乗ることが大事。教室介助をしているので、言葉の出ない子どものことも、普通学校で様子を見ているからわかる。日々気をつけてパニックにならないように苦労している。分からないことも、学校にいる私たちなら先生に聞ける。民間委託では、そういう対応はできない」と、バス添乗と教室介助の関連性の深さを訴えました。

また保護者は「今は、パニックでも安心して預けている。これが一番大きい。民間委託への不安は保護者には強い。介助員さんは、朝一番に出会う人だし、帰宅時も学校での様子を教えてもらって安心」と発言されました。

さらに、今度新設される地域の保護者からも「学校で見てくれている人がバス内でも見てくれるという安心がある。東はりま（仮）では、今と違うのでは？ 子どもへの待遇が変わるのは困る」と目の前に迫った不安を訴えていました。

### 保護者の不安に背を向ける県

これに対し、県当局は、東はりま特別支援学校（仮）についてはまだ決定してないとしながらも、「現在（3校で）導入されているが、問題はない。事務改善になるので（民間委託を）進める」と開き直りました。同時に「これは試行だ。問題があれば考え直さないといけない」とも回答しました。

### 民間委託は教育になじまない

民間委託とは、業務を委託先に「丸投げ」することです。教員が直接バス添乗員に指示・指導を行うと「偽装請負」となり違法です。どこよりも教職員間の連携が求められる障害児教育の現場で、連携を深めるほど違法の可能性が高まる民間委託がなじむ道理はありません。

今求められているのは、介助員の大幅な待遇改善です。民間委託で一層安上りな教育を進めて、安心・安全を犠牲にするなど、言語道断です。

障教組・高教組は、東はりま特別支援学校（仮）へのバス添乗業務の民間委託を中止し、現在民間委託している学校についても、再検討することを強く要求しています。